

校長室から
(H30年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 45

平成31年1月9日(水)発行

笑顔であいさつを！

平成最後の年となる年明けを迎えました。節目となる今年の年明けは、いつもより関心が高まり、期待が膨らんでいるのではないのでしょうか。新しい元号に変わる年ですので、楽しみにしている人もいます。

学校は、みなさんの元気な声が響き渡り、賑やかにスタートしました。登校初日の昨日は、新年のあいさつ「明けましておめでとうございます」と元気に声をかけてくれる人もいました。とてもうれしいことです。みなさんの元気な姿と笑顔のあいさつは、宝物だと思います。

新年のあいさつには、新たな年を迎えた祝福の気持ちと、今年1年の健康や幸せを願うという深い意味が込められています。そのため、町中で人々があいさつを交わしているのです。みなさんが思っている以上に、あいさつの言葉には、よい意味でいろいろな効果や効用があります。いつも交わしているあいさつにも、本来の深い意味があります。

「おはよう」には、「お早くお起きになりまして、今日もご健康でおめでとうございます」という長い意味が込められています。短い言葉に、相手を敬い、祝福する気持ちが込められたとても大切な言葉なのです。ですから、お互いにうれしくなるという効果があるのです。

「こんにちは」にも、「今日はいいい日を迎えることができ、よかったですね」という喜びの意味が込められています。「こんばんは」も同じです。「今日はいいい夜を迎えることができ、本当によかったです。おめでとうございます」という健康と安全をお祝する意味が込められています。

あいさつは簡単な言葉ですが、深い意味があり、その効果や効用がとても大きいのです。だから、あいさつ一つで、お互いがとても幸せな気持ちになるのです。みなさんも家族や友だちなど周りの人と、健康や喜びをともに祝いましょう。また、明日も元気に過ごせるように、喜びの輪を広げていきましょう。

1日は、あいさつで始まり、あいさつで終わります。これからも笑顔で、心を含めて、あいさつをしていきましょう！！



ひ	とつにみんなでまとまろう！	あ	いさつができる子
が	くりょくと体力をのばそう！	い	っしょうけんめい勉強する子
し	っかりせいかつしよう！	う	んどうが好きな子
な	かよく友だちとすごそう！	え	がおでやさしい子
ら	んらん夢に向かう東奈良っ子！	お	そうじをがんばる子

もっとステキな自分へのスタート

お正月には家族そろっておせち料理やお雑煮を食べたり、神社やお寺に初もうでに出かけたりするなど、楽しい冬休みだったことでしょう。お年玉をもらった人もいますよね。

昔からお正月には「年神様」が各家々に来ると信じられていました。年神様とは、1年の初めに私たちの家にやって来て、健康や幸せを運んでくださる神様のことです。その神様をお迎えするために、暮れには大掃除をしたり、しめ縄といって玄関の飾り物を用意したり、鏡餅という丸いお餅を2個重ねて家の中に飾ったりしました。また、「お年玉」というのは、実は年神様がその家の代表者、つまり、お父さんやお母さんに贈られるものだったようです。お父さんやお母さんは年神様からいただいた目に見えないお年玉を、お金や品物のような目に見えるものにして子どもたちに分けたのが、その始まりだと言われています。「明けましておめでとう」というあいさつの言葉も、もともとは年神様を迎えることばだったそうです。これらのお正月の行事は日本人が昔からずっと変えることなく大切にしてきたものです。なぜ私たちはこのようにお正月を特別なものと考え、同じ行事を毎年続けてきたのでしょうか。

それは新しい年の初め、つまりお正月が、生きていくうえでの大きな節目となったからです。節目というのは竹などにある節となっているところのことを言いますが、ものごとの一区切りとなるところ、という意味でも使われています。つまり、お正月はどの人にとっても気持ちを新しくして、つまりリセットして、昨年よりもさらによい自分になれるスタートの時だったのです。みなさんは誰でも、もっと賢くなりたい、もっと運動ができるようになりたい、もっと友だちを増やしたい、と思っているでしょう。もっとこうになりたい、ああなりたいという願いは、何もかもが新しくなるお正月をきっかけとして、新たな目標をもち、昨年よりもステキな自分になっていくことで、かなうことができるのです。

さあ、いよいよ学年最後の3学期です。自分の願いをかなえるために、今年1年続けられる目標をもちましょう。そして、その目標に向けて毎日毎日少しずつ頑張っていくしましょう。そして昨日より今日、今日より明日と、よりよい自分、よりステキな自分をめざしていきましょう。